

産業厚生常任委員会 県外調査

## 町活性化へ産業と人の交流に必要なものは

### 長野県内優良施設を調査

11月5日から7日に長野県内で、あんぼ柿の復興と農業体験施設などの交流施設計画のため、県外調査を行いました。

町では道の駅を含む交流の場建設を予定し、産業と人の交流の一つとして農業体験施設が求められています。町特産のあんぼ柿の加工や流通販売、施設整備、運営面を先進地で視察し、今後の参考とします。

### 作る——生産



屋内栽培の様子が見学できる(諏訪菜)

株式会社 諏訪菜 (茅野市)

地元中小企業が連携し、駅ビルの空き店舗が農場。蛍光灯と肥液や水道水の循環で葉物野菜を屋内生産している。

気象条件に左右されず安定した生産ができ、無農薬で洗わずに安心して食べられる。

●健康志向もあり、水耕栽培で手間を省いて生産できる点が良い。

(井砂委員)

●大きな施設を想像したが、小さな

### 呼ぶ——集客

みはらしファーム (伊那市)

いちご園やJA直売所、



中心はいちご園の収穫体験 (みはらしファーム)

場所でも野菜づくりができることに感心した。(村上正勝委員)

●値段が高く販売先確保が課題か。(村上晴天委員)

栽培による安心安全のイメージ作りに利用できる。また、空き店舗や廃校にも活用できる。

(渋谷委員長)

農産物加工場、伝統工芸施設、レストラン、温泉宿泊施設、貸出農園、牧場など多くの施設があり、眺望もよく、年間50万人以上が利用。

\*\*\*

●高速道路での集客が期待できる理想的な施設だ。

(井砂委員)

●国見にも収穫体験ができる施設が必要。

(村上正勝委員)

●土地が広すぎ、維持管理費と冬期の収入減が懸念される。

(渡辺副委員長)

●地域活性化や農業後継者対策の効果が期待できる。

(阿部委員)

●良い景観を利用した集客方法は参考になる。

(渋谷委員長)

# 売 る — 販売

かぶちゃん農園株式会社  
(飯田市)

干し柿「市田柿」のブランド化を地元大学と連携し研究。冷凍保存で年間販売や通信販売を進めている。

\* \* \*

● 冷凍施設での年間販売は



巨大な流通倉庫に驚き  
(かぶちゃん農園)



国見でも必要ではないか。

(村上正勝委員)

● 加工柿が国見の20倍の値段で販売され、付加価値の高さを感じた。

(阿部委員)

● 作る喜びだけでなく、付加価値により農業でも十分な収入が得られる。

(渡辺副委員長)

● 流通倉庫や冷凍庫はこれまでの農業とかけ離れていた。通信販売の綿密な計画に感心した。

(渋谷委員長)

付加価値の高さを実感

(かぶちゃん農園)

# 住 む — 定住

佐久クラインガルテン望月  
(佐久市)

耕作放棄地の活用が目的の滞在型市民農園(宿泊施設付き市民農園)。都市からの利用者を募集し、待機者が出るほど希望が多い。

\* \* \*

● 田舎暮らしを好む都会の人の市内への定住も期待



宿泊棟と市民農園が隣接している  
(佐久クラインガルテン望月)

できる。(井砂委員)

● 入居者数の割に野菜栽培が少なく、利用者は別荘感覚か。(阿部委員)

● 待機者が出るほどの地の利を生かした募集効果

## 産業厚生

### 町民の意見を尊重した計画づくりを

10月28日、都市計画マスタープラン(まちづくり長期

すごい。(村上晴夫委員)  
● このような施設があれば国見でも交通の便の良さを生かして集客できるのでは。(渋谷委員長)

計画)や貝田地区ほ場整備事業、土砂災害予防対策の事務調査を行いました。  
マスタープランでは、交流の場と連携してまちづくりを進めること、ほ場整備では地元の同意を得て、十分に説明し進めること、土砂災害予防対策は関係課と連携し、危険予測地域は住民への周知方法や誘導体制の検討の説明がありました。どの事業も町民の意見を尊重することや行政の責任が大きく求められるため、議会が厳しく監視する必要があります。



危険予測と予防対策が必要(山崎字南古館地内)

危険予測と予防対策が必要(山崎字南古館地内)